

情勢報告（平成 25 年 10 月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

|                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新規就農者 農業基礎講座                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|    | <p>就農して間もない農業者を対象に、農業の基礎知識の習得を図る「新規就農者農業基礎講座」の第一回講習会を 9 月 20 日に開催し、就農 5 年以内の新規就農者 24 人が参加しました。</p> <p>テーマは「土壌・肥料」で、振興センターが土づくりや肥料成分などに関する基本的な内容について講習を行いました。</p> <p>参加者からは、「説明がわかりやすい」「他のテーマでも講習をしてほしい」といった意見が出されました。</p> <p>本年度の講座開催は 2 回を予定しており、次回は 1 月に「農業経営」をテーマに実施する予定です。</p>                                       |
| ヒートポンプ加温機についての勉強会                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|   | <p>JA 土佐くろしお管内では、ミョウガなどの高温性作物を中心に、ヒートポンプ加温機の導入が急速に進んでいます。その中で、生産者から新たな加温機の制御や設定について不安の声が上がっていました。</p> <p>そこで、9 月 27 日にヒートポンプ加温機勉強会を開催し、加温機の特長や省エネ効果の高い加温設定方法について説明を行いました。勉強会には 57 名の生産者が参加し、そのうち 40 名が設定に必要なハウス内環境の実測を行いたいとの意向を示しています。</p> <p>今後、振興センターでは、各生産者のハウス内環境の実測データを取り、面談を通じて、それぞれのハウスにあった加温設定の提案を行っていく予定です。</p> |
| JA 土佐くろしお生姜部会出荷始め総会                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|  | <p>JA 土佐くろしお生姜部会出荷始め総会が 10 月 10 日に開催され、17 名の生産者が参加しました。</p> <p>振興センターからは、白星病の発生生態や防除に関する県農業技術センターの研究課題について県生産者交流会で報告のあった内容を説明しました。白星病は毎年発生が見られる主要病害の 1 つで、生産者には関心の高い病害と思われ、興味を持って聞いている方が多い状況でした。</p> <p>今後試験結果が明らかになれば、白星病の病害対策として部会で説明します。</p>                                                                          |
| JA 土佐くろしおニラ部会現地検討会                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|  | <p>JA 土佐くろしおニラ部会現地検討会が 10 月 11 日に須崎市と中土佐町の 2 ヶ所で開催され、22 名の生産者が参加しました。</p> <p>振興センターからは、今後の栽培管理としてハウスの保温や高温乾燥で多発生したネギアザミウマの防除の徹底などを説明しました。また、試験品種「ハイパーグリーンベルト」の試作を見た生産者からは、慣行品種の「スーパーグリーンベルト」より草丈が長いことから葉が伸びやすいという声がありました。</p> <p>次回は厳寒期の栽培管理について、1 月に現地検討会を開催する予定です。</p>                                                 |

## J A土佐くろしおサヤインゲン部会現地検討会



J A土佐くろしおサヤインゲン部会現地検討会が10月15日に須崎市と中土佐町の2ヶ所で開催され、23名の生産者の参加がありました。振興センターからは、サヤインゲンの生育に適した温度条件や湿度条件、栽培初期のジベレリン処理や立ち枯れ予防について篤農家の栽培ほ場で説明を行いました。

次回の現地検討会は、厳寒期の管理について12月に行う予定です。

## 「龍王宮農組合」のふき等加工講習会



9月29日、梶原町茶や谷の集落営農組織「龍王宮農組合」組合長宅で、県単事業(農山村地域資源発掘・活用事業)を活用し、自生のふきを使った商品開発講習会を実施しました。講師は、以前からふきの奈良漬をつくっている地元の生産者にお願ひしました。

当日は、講師から経験上のアドバイス聞きながら、事前に漬けておいた塩の除け方、各調味料の分量を学び酒粕・砂糖・焼酎に漬けました。その後、この方法で漬けたふきの奈良漬3年ものを試食し、味を検討しました。この本漬作業は、6ヶ月後に2回目を行います。

「龍王宮農組合」では、農業創造セミナーの実践活動として、ふきの加工品の商品化を進めていくことになりました。

## 売り出せ大野見米！「おおのみエコロジーファーマーズ」



草履作り体験

「おおのみエコロジーファーマーズ(旧称:大野見産米エコ研究会)」は減農薬栽培による米のブランド化に取り組んでいます。

10月5日には、高知県立大学健康栄養学部学生13名、講師3名を招いて体験交流を実施し、製材所から出る木くずを利用した草履作り体験を行いました。また、地元の集落営農組織である神母野営農組合の施設を紹介しました。大学生からは「草履作りは難しかったが、地元の人と交流できた。」「いいお米のために機械投資されている農家さんの苦勞と 생각이伝わった。」との声があがっていました。

10月20日には「おおのみ新米フェスタ」にて、農家7名と一緒に、新米の販売を行いました。「四万十の清粒 特裁大野見米」として2kg、3kg、5kg、10kg、30kgの各袋で販売しました。交流している高知県立大学健康栄養学部学生や大野見中学校生もかけつけ、農家とともに試食・アンケート調査や販売を行いました。今後は高知市のふるさと祭りでも新米を販売する予定です



新米フェスタでの販売